

AOI TYO Holdings

第3期 第2四半期

Business Report

2019.1.1 - 2019.6.30

証券コード: 3975

如何なる時代にも対応できる、力強い企業体であり続けるために



代表取締役会長 CEO 吉田 博昭

AOI TYO HoldingsはAOI Pro.とTYOの経営統合により、メディアの売買をしない広告企画・制作会社としては国内業界最大の企業体となりました。年間CM制作数は2,000本以上に及び、皆様がテレビでよくご覧になるCMの3本に1本は私たちの作品です。

統合初年度であった2017年12月期は、注力してきたCM制作案件の利益率改善やソリューション事業の売上拡大などにより期初予想を大幅に上回る業績を達成した一方、2018年12月期は働き方改革やプリントレス等事業環境の変化の影響により厳しい決算となりました。

このような流れを受け、当社では2019年3月4日に中期経営方針を発表しました。

当社グループの強みは、長きにわたり映像を中心とするクリエイティブワークに従事してきた〈人材〉という資産です。この〈人材〉の力を最大限に活用し、如何なる時代にも対応できる、力強い企業体であり続けること——そのために、長年目指してきた規模の追求にこだわらず、〈規模より質〉の経営へと、大きく舵を切ります。

また、これまでの価値観が変わろうとしているこのような時代において、私たちは〈モノを大量に売るための広告作り〉だけにこだわっていることはできません。

これからは私たちの強みである〈人を感動させるクリエイティブな力〉を武器として、広告の領域にとどまらず、広く〈感動のビジネス化〉を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、どうかより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たちは、AOI TYO Holdings設立以降、ミッション〈新しい「心動かす」で、新しい価値創出をしつづける。〉の実現に向け、多様な事業パートナーとの協業、投資、M&Aなどをスピーディーに判断し、力強く進めてまいりました。長きにわたり軸としてきた映像制作事業の知見を様々なテクノロジーと掛け合わせ、ヒトがテクノロジーを活用し、ヒトが課題解決する、そうしたソリューション提供型のビジネスこそが、私たちの強みを生かした競争力あるビジネスだと考えています。

2019年12月期は新たな中期経営方針のもと、今後の経営戦略を軌道に乗せるための重要な1年と位置づけています。

引き続き事業環境の変化への対応や働き方改革を推進するための受注コントロールも必要であることから、むやみに規模の拡大は目指しません。周辺ソリューションの強化や海外展開に重点を置き、人材育成・採用を含めた将来への種まきを着実にを行うことで、今後の安定的な収益につなげる経営を実行していきたいと考えています。

また、来るべき5G時代を見据え、エンゲージメントを高める高品質な動画広告のニーズに対応していくことで、動画広告＝AOI TYOグループという圧倒的ポジションの確立を目指してまいります。

AOI TYO Holdingsは、多様なステークホルダーの皆様の期待に応えるべくこれからも邁進してまいりますので、今後ともご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

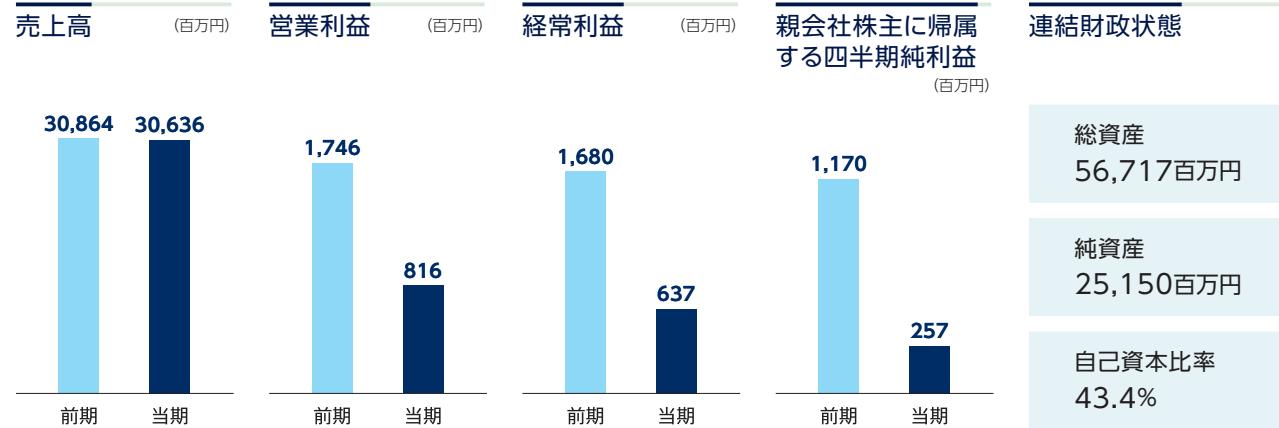


代表取締役社長 COO 中江 康人

Consolidated Financial Highlights
連結業績ハイライト (2019年12月期 第2四半期)

POINT

- ▶ 売上高は大手広告会社からの受注・売上が堅調で前年同期比ほぼ同水準
- ▶ 営業利益は、新システム稼働に伴うコスト増などにより、前年同期比減少
- ▶ 業績が不振な子会社の整理に伴う特別損失を計上したものの、含み益のある政策保有株式の売却により特別利益を計上



※前期:2018年12月期 第2四半期、当期:2019年12月期 第2四半期

2019年12月期 通期連結業績予想

売上高	63,600百万円
営業利益	2,300百万円
経常利益	2,150百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,050百万円

1株当たり配当金

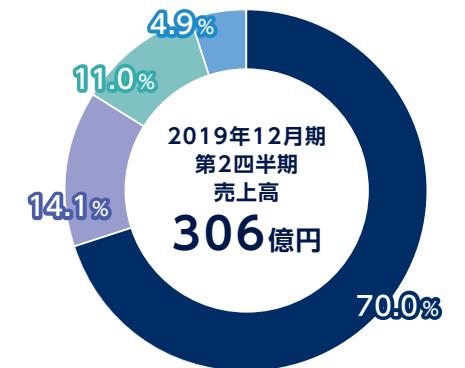
	中間	期末	合計
2018年12月期	8円	22円	30円
2019年12月期	8円	12円(予定)	20円(予定)

Business Domain
事業区分

当社グループでは、主力の動画広告事業に加えて、以下のような事業を営んでおり、ソリューション事業と海外事業を成長領域と位置づけています。

事業区分	内容	取り組み状況
▶ 動画広告事業	テレビCM、オンライン動画などの広告映像の企画・制作	マーケットの環境変化に対応し、テレビCMは横ばい、プリント売上は減少 ^(※) するも、オンライン動画の受注増加により、堅調に推移しています。
▶ 広告関連事業	映画やドラマ、イベントの企画制作及びデジタルコンテンツ、販促物、ミュージックビデオの制作	2019年4月に、大阪を拠点とするイベント関連の会社を連結子会社化。エンタテインメントコンテンツも含め、動画制作の周辺領域も拡大しています。
▶ ソリューション事業	顧客の問題解決のための施策提供(広告主直接取引、動画コンテンツマーケティングなど)	広告主直接取引の受注案件の大型化が進み、事業規模は堅調に拡大しています。コンサルティングや新規事業支援などを行うデザインインキュベーションチームとの資本業務提携や新会社の設立、人材獲得など積極的な先行投資も行っています。 ※詳細はP09をご覧ください。
▶ 海外事業	東南アジアを中心に展開している海外拠点における事業及び海外プロダクションから受注する映像制作	2019年7月にマレーシアの広告会社を連結子会社化。東南アジア地域でのサービス強化や、日系企業だけでなく多国籍企業も対象とした事業展開に力を入れています。

※ 従来、各放送メディアへ入稿するためにテレビCM素材を記憶媒体へ複製(プリント)して納品しており、それにかかる売上・利益が計上されていましたが、2017年10月以降、オンラインデータ送稿へ段階的に移行が進み、プリント売上が減少しております。



CSR&SDGsへの取り組み

私たちは、「新しい『心動かす』で、新しい価値創出をしつづける。」をミッションに、事業活動の持続的な成長を目指しています。

企業活動を通して社会および地球の発展に貢献し、SDGs達成に向けて取り組むとともに、これらの活動によりAOI TYOグループの企業価値とステークホルダーの皆様双方の価値を高めていくことが重要だと考えています。



SDGsとは

SDGs (持続可能な開発目標) とは、2030年までに地球規模の課題を解決するべく、国連サミットで採択された世界共通の目標です。世界を変えるための17の目標が示されています。

AOI TYOグループが活動を通じて目指すこと

1.

心に感動を呼び起こすことで、
豊かな感受性を育て、
楽しみのある社会を創っていきます。

2.

コミュニケーションを推進して、
人と人の絆を深め、
共に喜びあえる暮らしを目指します。

例えば……

質の高い教育をみんなに

次世代の才能の発掘と育成、さらには、映像業界全体の発展に寄与すべく、「TYO学生ムービーアワード」の開催や映画祭への協賛を行っています。また、社内においてもプロデューサーやプロダクションマネージャーとしての研修制度の充実や自己研鑽の推奨をしています。



人や国の不平等をなくそう

AOI TYOグループでは、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本への協賛や「Project Unsilence」「CPサッカー」の映像制作など、事業活動を通じて様々な活動を支援しています。また、海外インターン生の受け入れや海外子会社との交換留学・研修など、国の垣根を越えて交流を深めています。



取り組みのご紹介

AOI TYOグループ社員が車いすテニス世界国別選手権に出場、男子チーム銅メダル獲得に貢献



撮影: 本間正広

グループ会社のAOI Pro.社員で車いすテニスプレーヤーの鈴木康平が、5月にイスラエルで開催された車いすテニス世界国別選手権「2019 BNP Paribas World Team Cup」に日本代表選手として出場、男子チームは銅メダルを獲得しました。鈴木は2015年4月AOI Pro.入社、現在、AOI TYO Holdings総務チームにて総務業務を担当しながら、来年開催の東京パラリンピック出場を目指しています。AOI TYOグループは障がい者雇用とスポーツ支援を通じた社会貢献活動の一環として、鈴木への競技活動を支援しています。



鈴木康平プロフィール

生年月日: 1992年7月21日

成績: 世界ランキング18位 (2019年8月26日時点) 日本ランキング2位 (2019年8月1日時点)

中学・高校時代はソフトテニス部に所属。大学1年生の時に、交通事故により左下腿1/2以上を切断。2012年ロンドンパラリンピックの車いすテニス決勝戦をテレビで観戦し感銘を受け、翌年より車いすテニス競技を始める。2018年10月に開催されたインドネシア2018アジアパラ競技大会ではシングルスで銅メダルを獲得。

「高尾小仏植樹祭」にボランティアとして参加

AOI TYOグループでは、「森づくり笑顔を広げる」というコンセプトに賛同し、苗木を植樹するイベントに2015年より協賛、参加型CSR活動として社員とその家族がボランティアで参加しています。「NPO法人 国際ふるさとの森づくり協会」が昨年主催した「高尾小仏植樹祭2018」では、1,226㎡の土地に、32種類の苗木4,089本の植樹を280名のイベント参加者とともに体験しました。



Works
制作実績 / AOI Pro.

※著作権保護のため、作品画像のWEB掲載はしていません。

KDDI 新auピタットプラン
「冒険のうた」

大塚製薬 カロリーメイト
「考えつづける人」

トヨタ自動車 トヨタタイムズ
「デトロイトモーターショー取材」

リクルート ゼクシィ
「花嫁の歌」

ハーゲンダッツ ジャパン ハーゲンダッツ
「新パッケージ登場」

ゼスプリ インターナショナル ジャパン
ゼスプリ キウイ「みんなであぐりジャス」



©朝井リョウ/集英社・LET'S GO BREAKERS PROJECT

映画「チア男子!!」/AOI Pro.出資・制作
2019年5月10日公開

AOI Pro.社員の風間太樹が長編映画の初監督を務めた本作。直木賞作家の朝井リョウさんによる同名小説を実写映画化しました。横浜流星さん、中尾暢樹さんのダブル主演で男子チアリーディングに挑んだ青春物語です。



©「僕はまだ君を愛さないことができる」製作委員会

ドラマ「僕はまだ君を愛さないことができる」/AOI Pro.出資・制作
2019年7月15日配信・放送開始(全16話)

本作は、台湾エミー賞史上最多7部門受賞ドラマ「我可能不會愛你(イタズラな恋愛白書)」を日本版にリメイク。FOD・フジテレビ地上波にて配信・放送中、中国の大手プラットフォーム4社他各国で同時展開しています。

Works
制作実績 / TYO

※著作権保護のため、作品画像のWEB掲載はしていません。

ニチレイフーズ
本格炒め炒飯。 「ゴロゴロ焼豚女子」

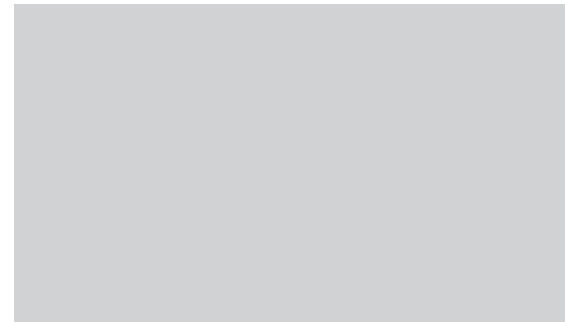
パイロットコーポレーション
「書く、を支える。～吉永小百合」

ブックオフコーポレーション
「心を読む心くん」

HOYA
コンタクトのアイシティ 「めっ!」

全日本空輸
機内安全ビデオ

AKS/キングレコード
AKB48 「ジワるDAYS」 ミュージックビデオ



東海旅客鉄道 そうだ 京都、行こう。
2019年 春「春はあけぼの・さくら」



© 2019 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

Netflixオリジナルシリーズ「リラックマとカオルさん」
TYOドワーフ制作・プロデュース(全13話)

人気キャラクター「リラックマ」初のアニメーションシリーズをTYOドワーフが制作・プロデュース、Netflixにて世界190カ国に独占配信中です。国内外のメディアにも多数取り上げられ、大きな反響を呼んでいます。

TYO

デザインインキュベーションチーム「AnyProjects」と資本業務提携

グループ会社のTYOは、AnyProjects株式会社（以下、AnyProjects）と資本業務提携契約を結び、2019年8月より本格的に業務をスタートしました。

AnyProjectsは、5名の共同代表から成るデザインインキュベーションチームで、デザイン・コンサルティング、新規事業開発、建築・都市デザイン、コミュニケーション・メディア戦略、ブランディング戦略、投資、アートイベントのプロデュースなどを手掛けてきたグローバルに活躍するメンバーが集まり、分野を超えた知見を統合したコンサルティングや新規事業支援などを行っています。TYOは、長年積み上げてきた映像クリエイティブ力に、人々の心や行動の変化から潜在的な課題や欲求を読み解き、あるべき姿をカタチにする「デザイン思考」を融合させた、新たなビジネス価値の創造を目指し、業務提携に至りました。

今後は、デザイン・コンサルティングやサービスの共同開発などを行い、従来の枠組みを超えた新たな手法や映像コミュニケーションの応用から、企業の事業成長やイノベーション創出の支援を行います。

Quark tokyo

サイバー・コミュニケーションズとの合併会社「Mediator」を設立

グループ会社のQuark tokyoは、株式会社サイバー・コミュニケーションズ（以下、CCI）との合併により、2019年8月20日付で新会社「株式会社Mediator（メディアイター）」を設立しました。

Mediatorは、様々なメディアが持つそれぞれの特性と広告フォーマット、異なるターゲットに沿ったコミュニケーションを企画制作し、メディアとクライアントの間に入ってコンサルティングを行う新しいエージェンシーです。

デジタルメディアを知り尽くしたCCIと、デジタル時代のコミュニケーションプランニング、クリエイティブディレクションに強みを持つQuark tokyo。それぞれの強みを最大限に発揮し、メディアとクライアント双方がメリットを享受できるコミュニケーションとクリエイティブ、広告配信プランの設計と実運用をワンストップで提供するメディアコミュニケーションエージェンシーを目指します。

新会社の概要

- 名称 株式会社Mediator
- 所在地 東京都渋谷区神宮前3-32-6 デュオ表参道 102
- 代表者 代表取締役 オノダタカキ
- 事業内容
 - メディアを起点としたコミュニケーション、クリエイティブプランニングの提供
 - クライアントニーズ、ターゲットインサイトを元にしたメディアコンサルティング
 - クリエイティブ（コンテンツ制作）、メディア運用というエグゼキューション業務



会社概要 (2019年6月30日現在)

社名	AOI TYO Holdings株式会社
社名(英語表記)	AOI TYO Holdings Inc.
設立	2017年1月4日
資本金	50億円

役員 (2019年6月30日現在)

代表取締役会長 CEO	吉田 博昭	社外取締役(監査等委員)	萩原 義春
代表取締役社長 COO	中江 康人	社外取締役(監査等委員)	高田 一毅
専務取締役	譲原 理	社外取締役(監査等委員)	小久保 崇
常務取締役	上窪 弘晃		

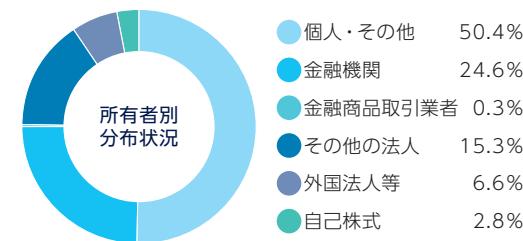
株式の状況 (2019年6月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,566,447株
株主数	13,489名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,629,900	6.83
株式会社コスモチャンネル	1,153,740	4.83
株式会社IMAGICA GROUP	1,018,000	4.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	810,800	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	806,200	3.38
フィールズ株式会社	479,660	2.01
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	418,900	1.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	418,000	1.75
原 仁	400,000	1.68
原 文子	328,000	1.37

※持株比率は自己株式(690,291株)を控除して計算しております。



IRカレンダー



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (コード：3975)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL http://aoityo.com/ja/ir/publicnotice.html

メール配信

当社の最新のIR情報をEメールにてタイムリーにお知らせするサービスです。
下記よりご登録いただけます。

<http://aoityo.com/ja/ir/irmail.html>

※携帯電話用メールアドレスでの登録はできません。



AOI TYO Holdings株式会社

141-8580 東京都品川区大崎1-5-1 大崎センタービル5階
03-6893-5005 (代表)
<http://aoityo.com/>

